

遅発性ジスキネジア体験談マンガ

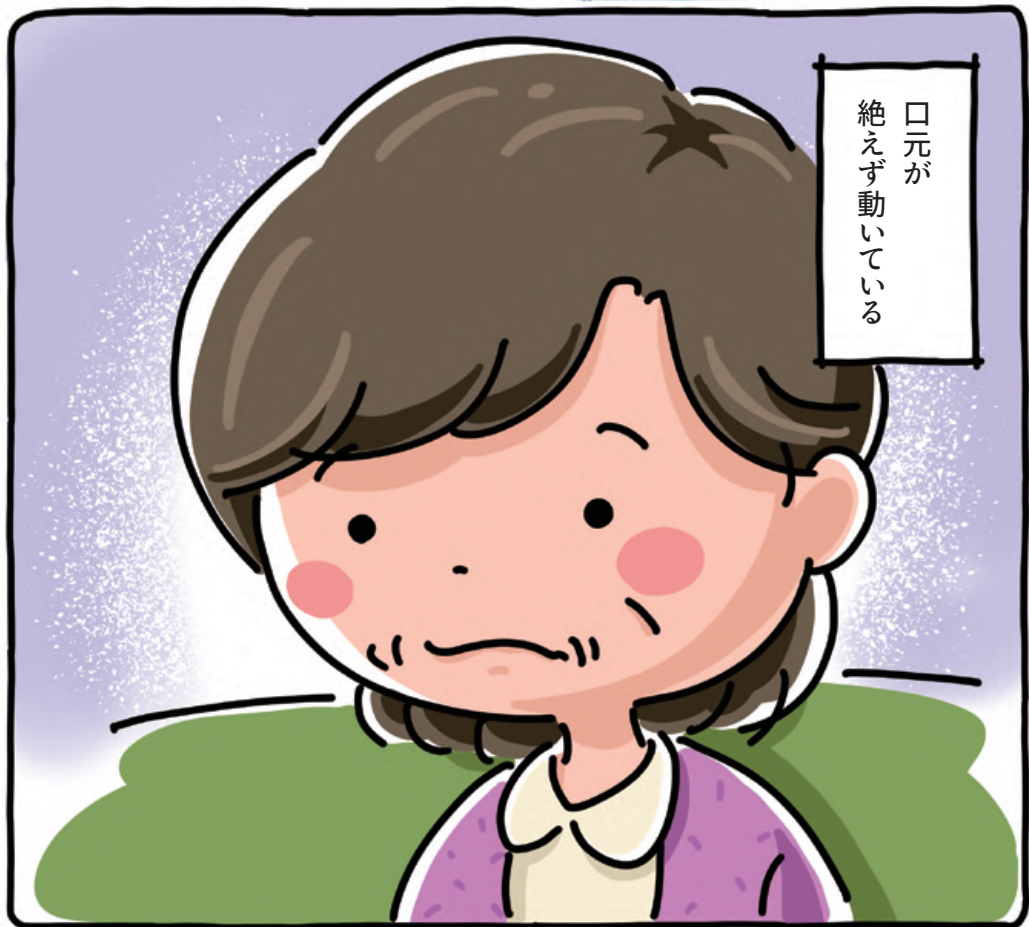
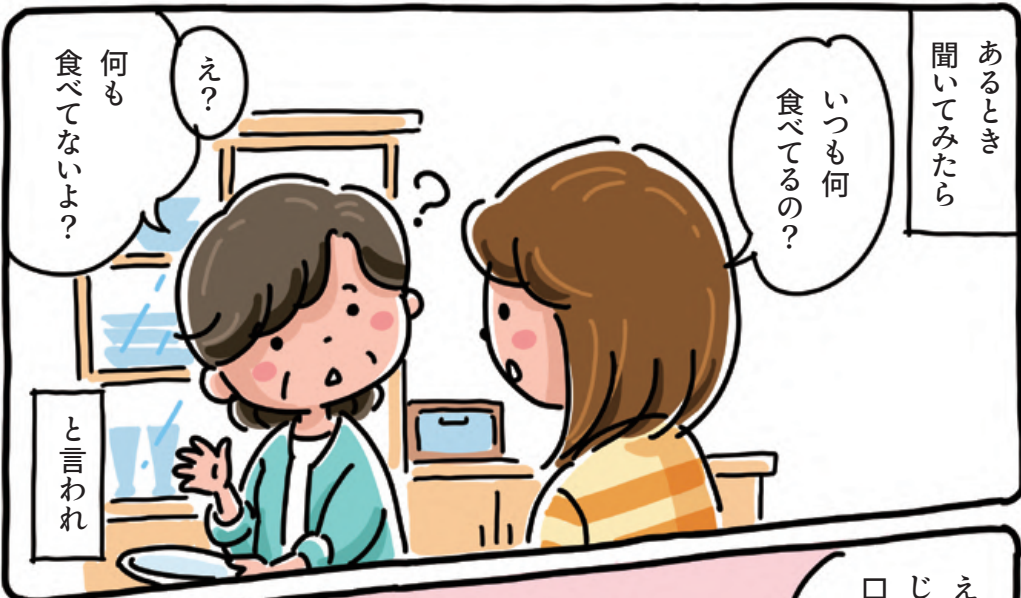
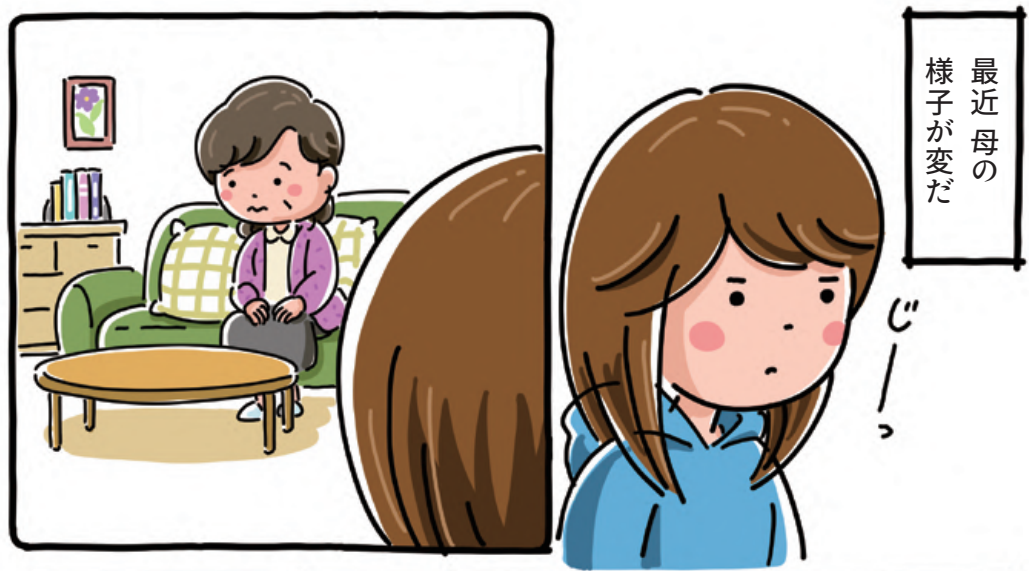
「無意識な体の動きに気づいたら」

Ver.1 娘の葛藤



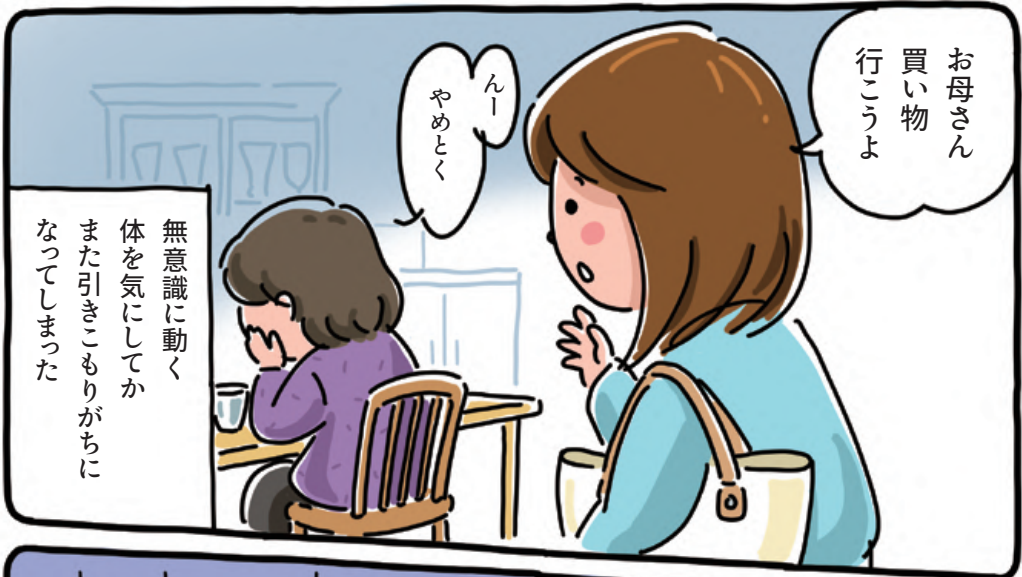
監修：桶狭間病院 藤田こころケアセンター 病院長 藤田 潔 先生
桶狭間病院 藤田こころケアセンター CRC 坪井 宗二 先生

ストーリー：すずかおる
絵：いしづまさかず





それでやっと統合失調症の
症状も落ち着いてきて
外出も少しずつ増えてきた
ところだったのに



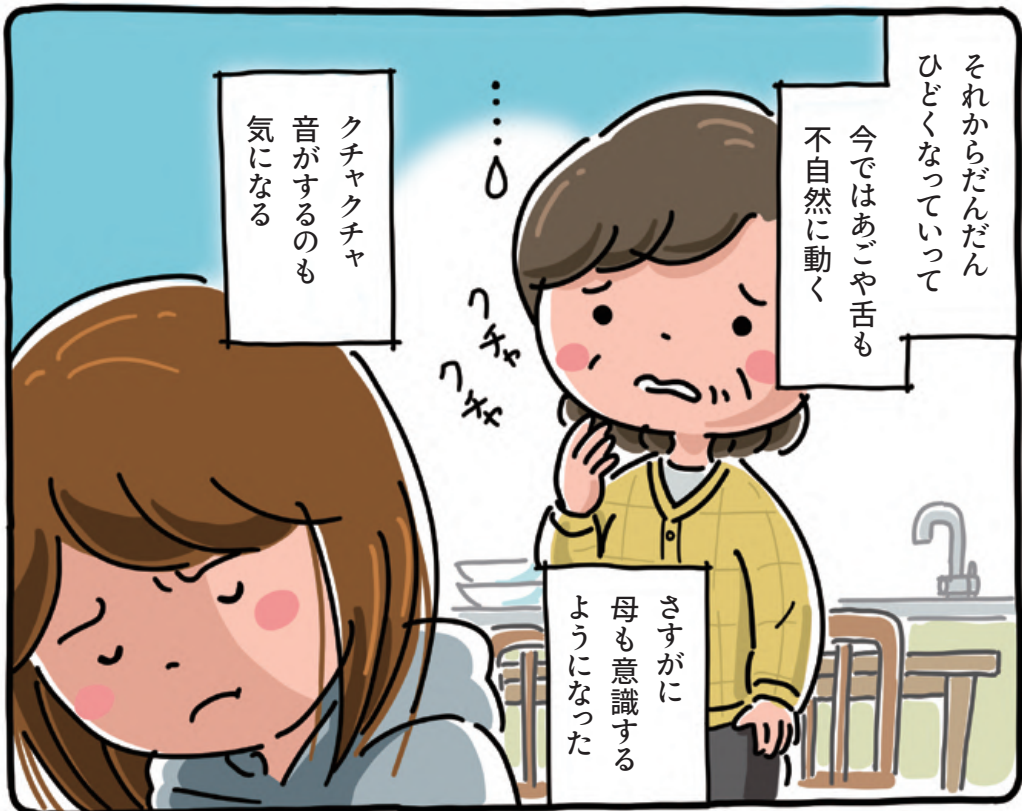
お母さん
買い物
行こうよ

んー
やめとく

無意識に動く
体を気にしてか
また引きこもりがちに
なっていました



口が
気になって
なかなか
寝つけない
ようだし

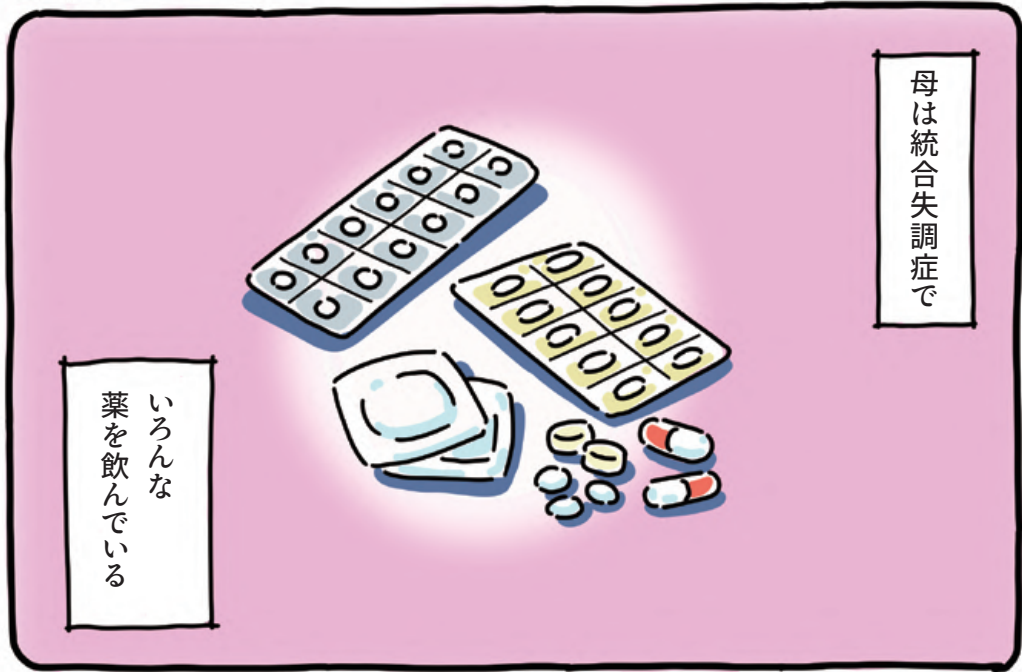


それからだんだん
ひどくなっていった

今ではあごや舌も
不自然に動く

クチャクチャ
音がするの
気になる

さすがに
母も意識する
ようになった



母は統合失調症で

いろんな
薬を飲んでいる

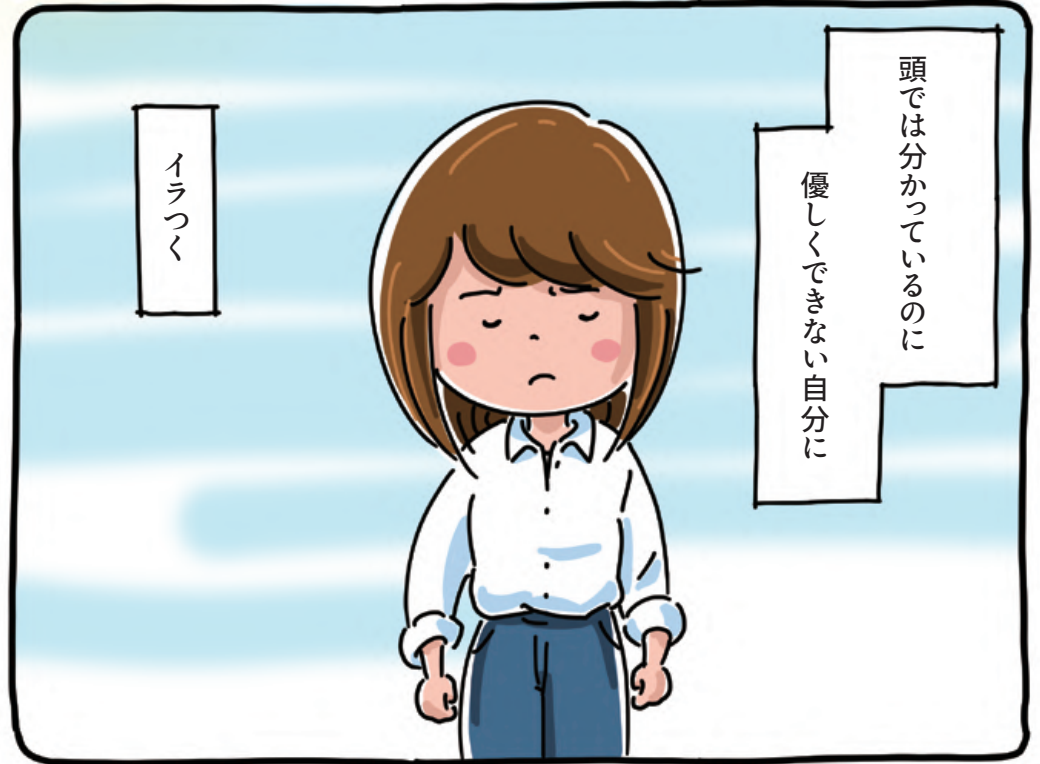
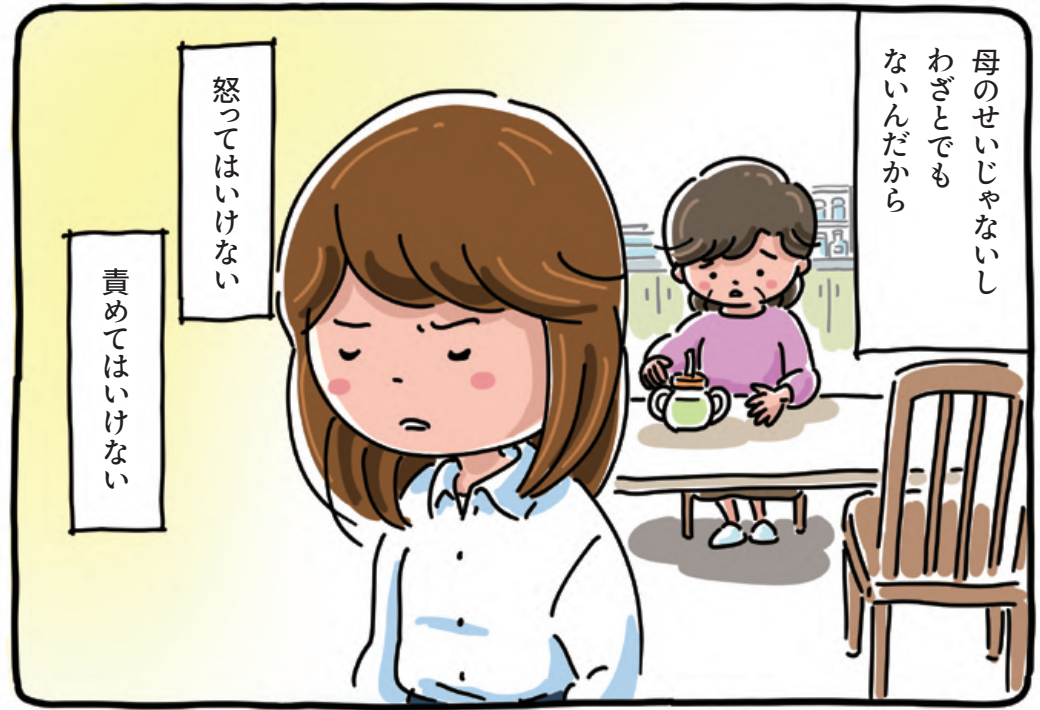


食事のときは



箸で 食べ物をうまく つまめない



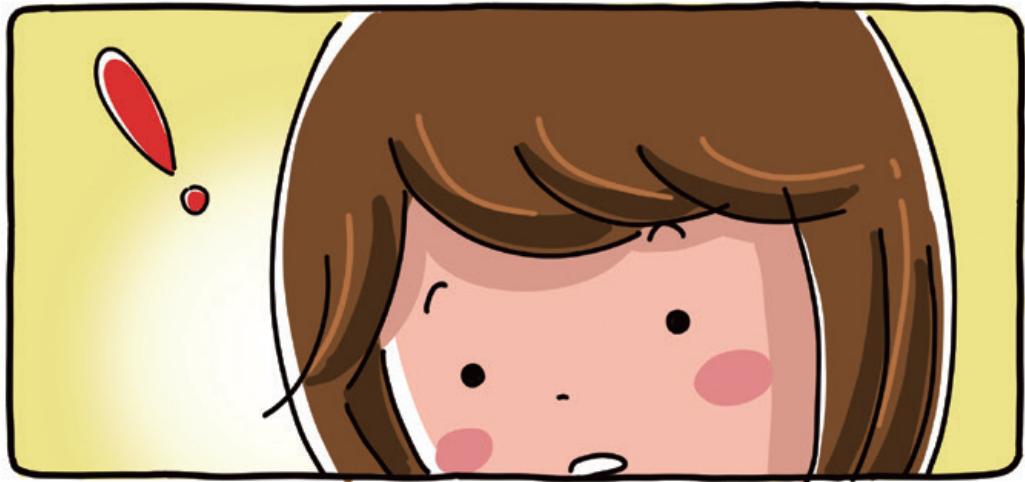




もっと優しくできたら
何か私にできることが
あればいいのに...



薬の袋の中に
何か入ってる



だけど私は
見たくなければ
目を背ければいいし

聞きたくなければ
耳をふさげばいい

逃げることも
できる



本当につらいのは

目を背けることも
耳をふさぐことも
逃げることもできない

母自身だって

分かってる

食事中によくむせたり
せき込んだり
喉に食べ物がつまりそうになる

…よくむせる

かなり
あてはまる

…ある

口を突き出したり
口をモグモグさせるなどの
症状

遅発性ジスキネジア?

以前に比べて
しゃべりにくそう

…しゃべりにくく
なってる

患者さん自身が
気づかない

…気づいて
なかった

抗精神病薬などを長期に服用

…してる

いっしょにみつ

“こんな動き”してると
いわれたことはありませんか

不規則にからだ
揺らす・ねじる

不規則に口を
モグモグと動かす

口唇のポイント
突き出すような口の動き

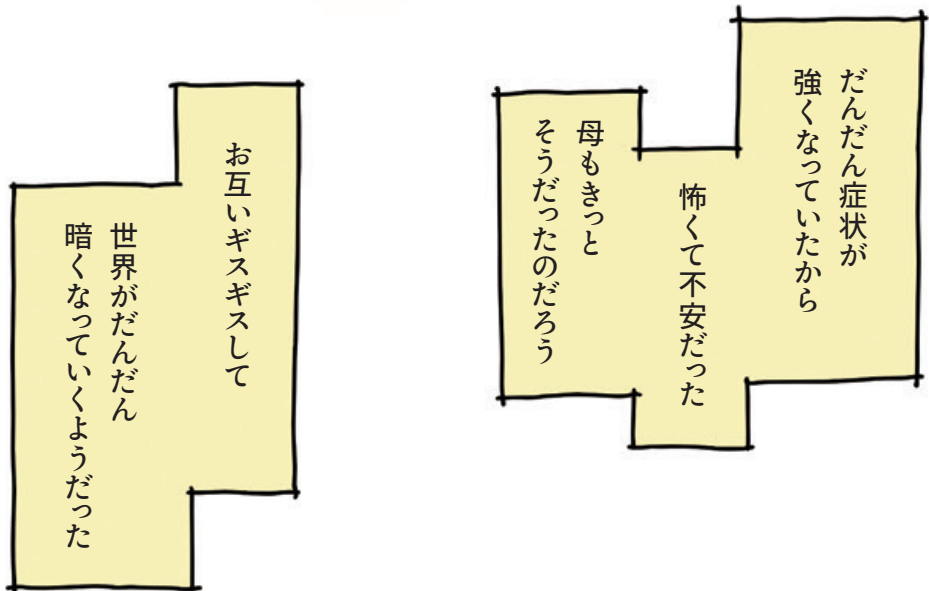
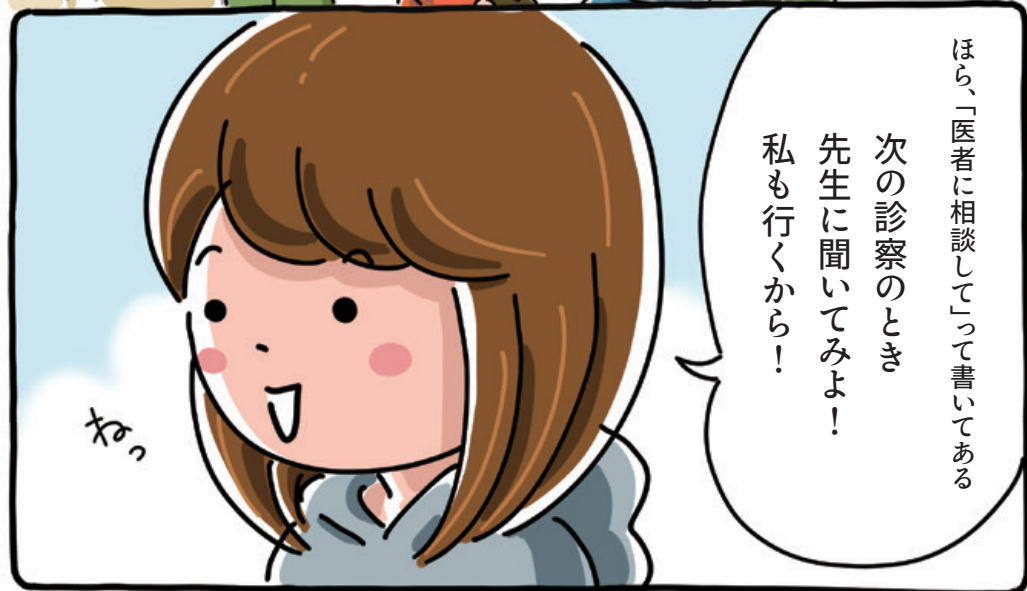
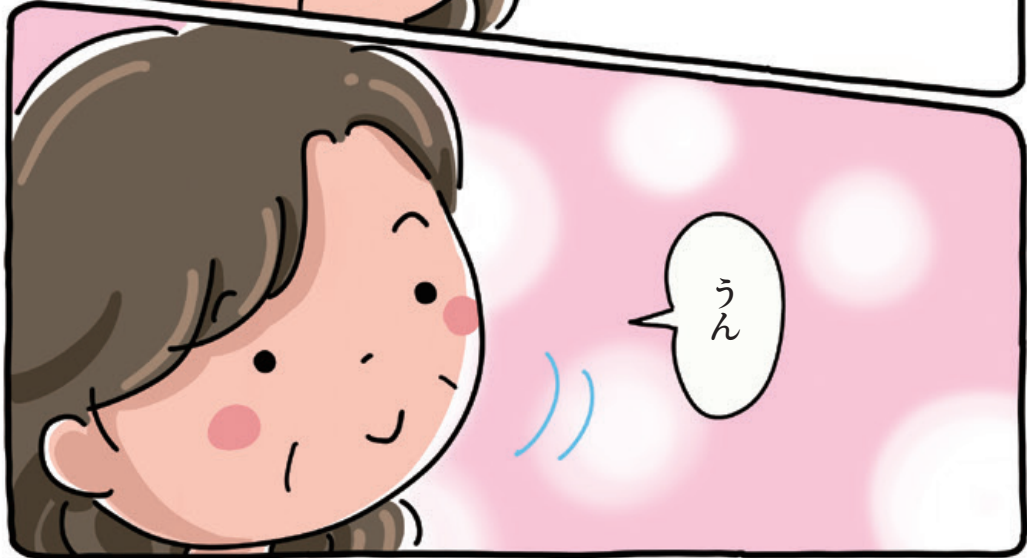
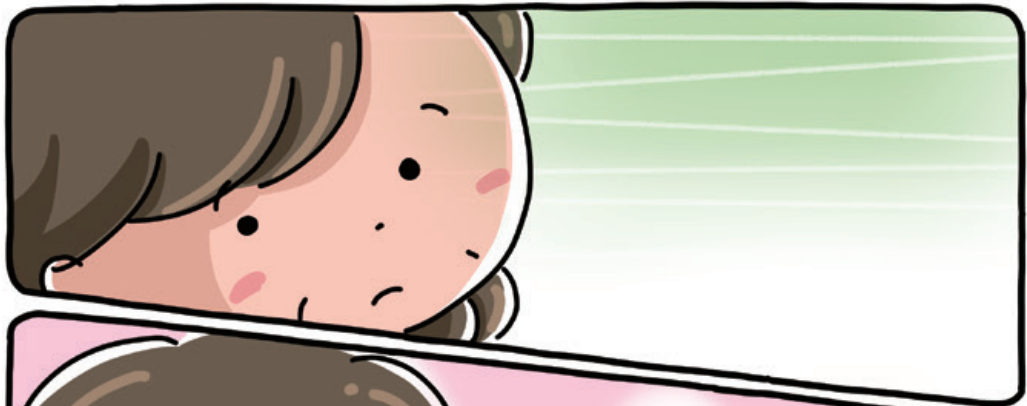
口唇のポイント
方向性が一定しない
不規則で大きな動き

口唇のポイント
突き出しモグモグとした口の動きから
ジスキネジアと判断できる

不

これ…

お母さんの症状と
同じだ



1

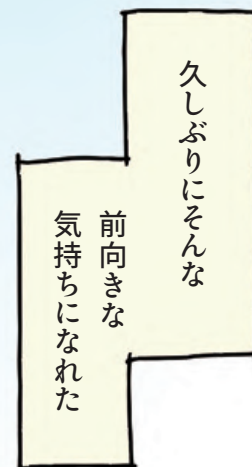
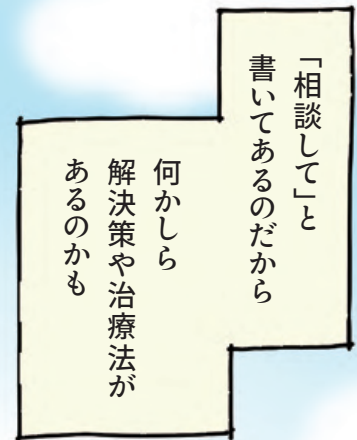
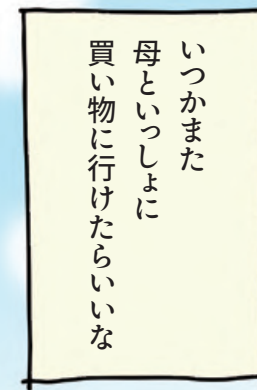
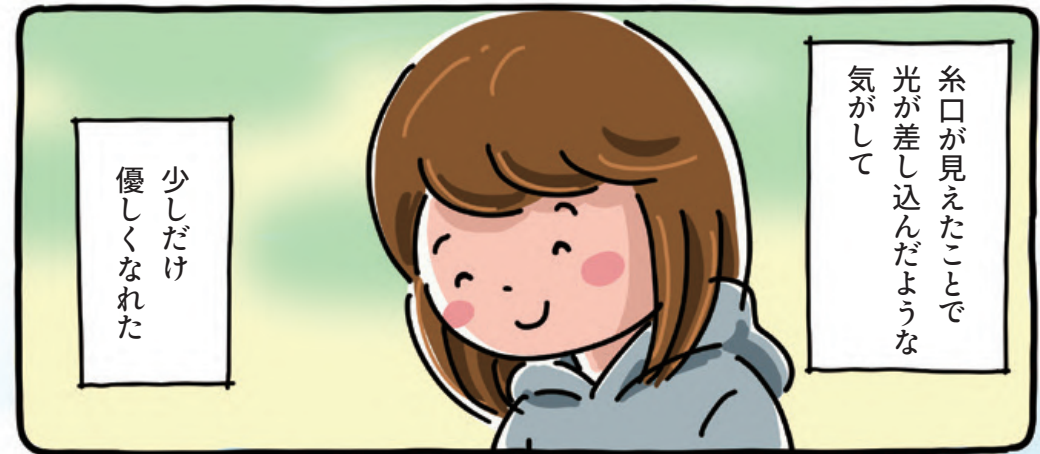
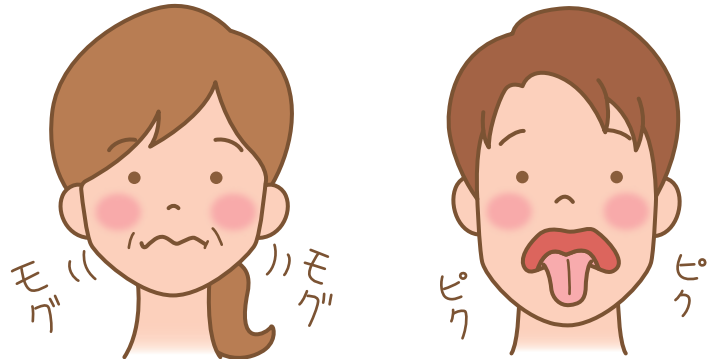
遅発性ジスキネジアって、 どんな病気？

「ジスキネジア」とは、自分の意思とは無関係に、体のどこかが勝手に動いてしまう、不随意運動*という体の動きの問題の一つです¹⁾。

ジスキネジアのうち、抗精神病薬などのお薬を長い間使用したことで起こるものを「遅発性ジスキネジア」と呼びます。遅発性ジスキネジアによる体の動きの問題にはさまざまなものがありますが、「繰り返し唇をすぼめる」「舌を不規則に動かす」「口をモグモグさせる」「眉をひそめる」など、顔に特徴的な症状が出るのがよくあります¹⁾。

遅発性ジスキネジアは、抗精神病薬などを使ったからといって必ず起こるものではありませんが、症状がみられた時に早めに気づき、対応するためにも、患者さんやご家族に正しく知っておいていただくことが大切です。

*不随意運動とは
「自分の意思とは無関係に起こる動き」のこと。



遅発性ジスキネジアの症状って？

遅発性ジスキネジアの部位別症状²⁾

頭部・顔面

症状の特徴

- 舌を左右に揺らす、舌をねじる、舌なめずり、舌を突き出す、など
- 唇をすぼめる、口をとがらせる、口をギュッと閉じる、など
- 舌をモグモグする、歯を食いしばる、など
- まばたきを繰り返す、眉をひそめる、しかめ面をする、目を閉じると開きにくい、など



顔や手足、全身に起こる症状^{1,2)}

遅発性ジスキネジアの患者さんのほとんどは、はじめに頭部や顔面（唇、舌、頬、下あご、顔の筋肉など）に症状があらわれます。舌を左右に動かしたりねじったりする、繰り返し唇をすぼめたり、口を突き出したりする、口をモグモグさせる、などの症状はよくみられます。また、顔をしかめたり、まばたきを繰り返すなどの顔の症状が出ることもあります。

このほか、手や足、全身にも症状が起こることがあり、手に力が入ってゆるめることができない、手でドアノブを回すような動きを繰り返す、勝手に手や足が動く、足が突っ張って歩きにくい、などの症状がみられることがあります。最も多くみられるのは顔の症状であり、若い人ほど手足や全身に症状が広がりやすい傾向があります。

口に起こる症状については、患者さん自身が症状に気づかないことや、気になっても日常生活にあまり影響がなければ「たいしたことはない」と見過ごしてしまうことも少なくありません。抗精神病薬を使用している患者さんや患者さんの身近にいらっしゃる方々には、注意深く様子を見ていただくことが大切でしょう。

手足

症状の特徴

- 手指を繰り返す、素早く曲げたり伸ばしたりする、腕を振り回す、腕をねじる、など
- 足指をつねに小さく動かす、足の親指を上下に動かす、タップする、など



首・体幹

症状の特徴

- 首やからだをゆする、からだをクネクネする、からだをねじる、など



1) 重篤副作用疾患別対応マニュアル（ジスキネジア）平成21年5月（令和4年2月改定）（厚生労働省）
<https://www.pmda.go.jp/files/000245263.pdf>

2) 渡辺昌祐, 他 編著. 遅発性ジスキネジアの臨床. p55-59, p67-75, 新興医学出版社, 1991.

「③遅発性ジスキネジアの治療って？」
 「④遅発性ジスキネジアが起こりやすい要因は？」については、「無意識な体の動きに気づいたら Ver.2/Ver.3」、もしくはウェブ「遅発性ジスキネジア サーチライト」をご覧ください。

アクセス方法



スマートフォンから

右の2次元コードを読み取っていただくか、下記のURLにアクセスしてください。



<https://td-searchlight.jp/>



パソコンから

「TD サーチライト」と検索いただくか、下記URLを入力しアクセスしてください。

TD サーチライト 🔍

<https://td-searchlight.jp/>

漫画のもとになった
患者さん体験動画
 はこちら ▼





本コンテンツの企画・作成は
田辺三菱製薬株式会社が行っています。

2025年3月作成

ヤンセンファーマ株式会社

(MTPC)
(審)25Ⅲ228